

令和5年度 山口市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和6年5月

山口市（山口県）

○計画期間：令和3年7月～令和9年3月（5年9月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和5年度終了時点（令和6年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成19年5月に「第1期山口市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成19年5月から平成25年3月まで）」、平成26年3月に「第2期山口市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成26年4月から令和2年3月まで）」の認定を受け中心市街地の活性化に取り組んできた。この間、中心商店街の空き店舗数が減少し中心市街地内の居住人口の維持が図られるなど、一定の効果を発現することができたものの、中心市街地におけるまちの老朽化への対応や、まちなかの持つ魅力の更なる向上など、様々な課題も浮き彫りになったことから、令和3年6月に「第3期山口市中心市街地活性化基本計画」の認定を受け、中心市街地の活性化に向けた取組を進めている。

令和5年度は、中心市街地内の空き店舗への新規開業希望者に対する支援として「あきないのまち支援事業」を実施したほか、「中心市街地開業サポートセンター事業」「多様性あふれる商店街推進事業」「中心商店街稼ぐ力向上支援事業」「まちゼミ」など既存店舗も含めた支援事業を継続実施し、店舗の閉店があっても、短期間で新たな店舗が出店している状況が続いており、営業店舗数を維持している。

一方で、商店街等の通行量に関しては、コロナ禍後の社会状況として、多くの方がこれまで行けなかった様々な場所に積極的に出かけるようになったことで、逆に商店街等の通行量が伸び悩む傾向となった。

そのような中、令和6年1月に、ニューヨーク・タイムズ紙が2024年に行くべき52カ所を発表し、日本からは唯一「山口市」が選ばれた。本市は、「西の京」と呼ばれ、観光公害に悩まされることが少ない、コンパクトな都市として評価されており、記事では、国宝瑠璃光寺五重塔（香山公園）や陶芸工房、コーヒーショップ、おでんや鍋料理をカウンターで提供する店、湯田温泉が挙げられている。取り上げられた多くが中心市街地に存在し、列挙された場所の中心に中心市街地が位置していることから、このニュースをきっかけとした国内外からの来街者の増加に向け、おもてなし環境の整備等について検討を行った。

中心商店街を歩きたくなる空間とするための整備事業である「歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード）」では、安心安全な歩行空間とするためのアーケード内のタイル舗装改修について、地元アーケード商店街と協議を行い、実施設計を進め、工事着手に至った。

さらに、密集市街地や居住環境の改善を目的とする「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」では、善福寺地蔵通り線、北野小路及び銭湯小路線の道路拡幅工事を実施した。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

基準日：毎年度 1 月 1 日

(中心市街地地域)	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1 年目)	令和4年度 (2 年目)	令和5年度 (3 年目)	令和6年度 (4 年目)	令和7年度 (5 年目)	令和8年度 (最終年度)
人口	4,625	4,669	4,652	4,786			
人口増減数	181	44	-17	134			
自然増減数	-28	-36	-43	-50			
社会増減数	214	83	27	184			
転入者数	464	367	273	481			

(2) 小売販売額

単位：百万円

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1 年目)	令和4年度 (2 年目)	令和5年度 (3 年目)	令和6年度 (4 年目)	令和7年度 (5 年目)	令和8年度 (最終年度)
市全体	-						
中心市街地	-						

※経済センサス活動調査（令和3年度）の結果が令和5年度に公開されたことを受けて現在データ申請準備中のため、記載不可。

(3) 事業所数

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1 年目)	令和4年度 (2 年目)	令和5年度 (3 年目)	令和6年度 (4 年目)	令和7年度 (5 年目)	令和8年度 (最終年度)
市全体	-						
中心市街地	-						

※経済センサス活動調査（令和3年度）の結果が令和5年度に公開されたことを受けて現在データ申請準備中のため、記載不可。

(4) 公示地価

単位：円/㎡

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1 年目)	令和4年度 (2 年目)	令和5年度 (3 年目)	令和6年度 (4 年目)	令和7年度 (5 年目)	令和8年度 (最終年度)
道場門前2-8-21	64,000	64,000	64,000	64,400			
米屋町3-19	85,600	84,500	84,500	83,600			

2. 令和5年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

商店街等通行量の減少はあったものの、中心商店街営業店舗数、新規出店数、中心市街地における建物更新件数は順調に推移しており、計画に位置付けた事業の効果がでていると評価する。

令和5年度は、コロナ禍後、各地域でのイベントが一斉に再開等されたことも影響し、中心市街地の人出が思ったほど伸びない状況であったが、令和6年1月のニューヨークタイムズ紙の報道を受けて、山口市、中でも中心市街地とその周辺が世界的に注目されており、現在は、外国人旅行客の姿も明らかに増加してきている。今後はこの好機を生かすような効果的な事業実施について支援していく。

協議会として、活性化に関わる各主体間の連携を促進し事業効果を高めていきたい。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
求心力のある商業・業務エリアの形成	中心商店街営業店舗数	275店舗 (R2年度)	281店舗 (R8年度)	282店舗 (R5年度)	A	①	①
	中心商店街への新規出店数	83店舗 (H27～R1年度) 累計	96店舗 (R3～8年度) 累計	44店舗 (R3～5年度) 累計	—	①	①
交流と創造による来街機会の創出	商店街等通行量 (通常時の平日・休日平均)	34,700人/日 (H28～R2年度) 5年間平均	36,800人/日 (R8年度)	29,131人/日 (R5年度)	C	①	①
誰もが安心して過ごすことができるまちへの再生	中心市街地における建物更新件数	3件 (H27～R1年度) 累計	12件 (R3～8年度) 累計	10件 (R3～5年度) 累計	B	①	①

< 基準値からの改善状況 >

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 >

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

「中心商店街営業店舗数」については、既存店舗の営業力の強化支援策や新規出店に関する支援事業の拡充を図りながら継続して実施することとしており、目標達成が見込まれる見通しとした。

「中心商店街への新規出店数」については、出店の際の店舗改装費等の支援に関する事業を継続して実施することから、目標達成が見込まれる見通しとした。

「商店街等通行量」については、計画期間中に、歩きたくなるまちなかの形成に向けた「まちなかウォークアブル」の取組を進めるほか、各種事業の実施により来街機会の創出を図ること、さらにはニューヨークタイムズ紙で「2024年に行くべき52か所」の3番目に山口市が選ばれたことを契機とする様々な施策を展開することから、来街者の増加を見込んで、目標達成が見込まれる見通しとした。

「中心市街地における建物更新件数」については、住宅市街地総合整備事業が順調に進捗しており、老朽建築物等の更新が計画的に図られることから目標達成が見込まれる見通しとした。

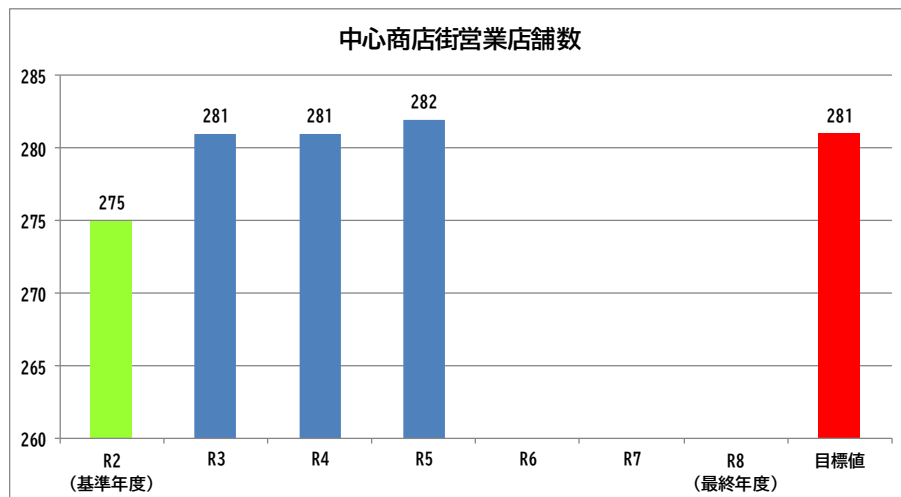
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回見通しからの変更なし

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「中心商店街営業店舗数」、「中心商店街への新規出店数」※目標設定の考え方認定
基本計画 P64～P66 参照

●調査結果と分析



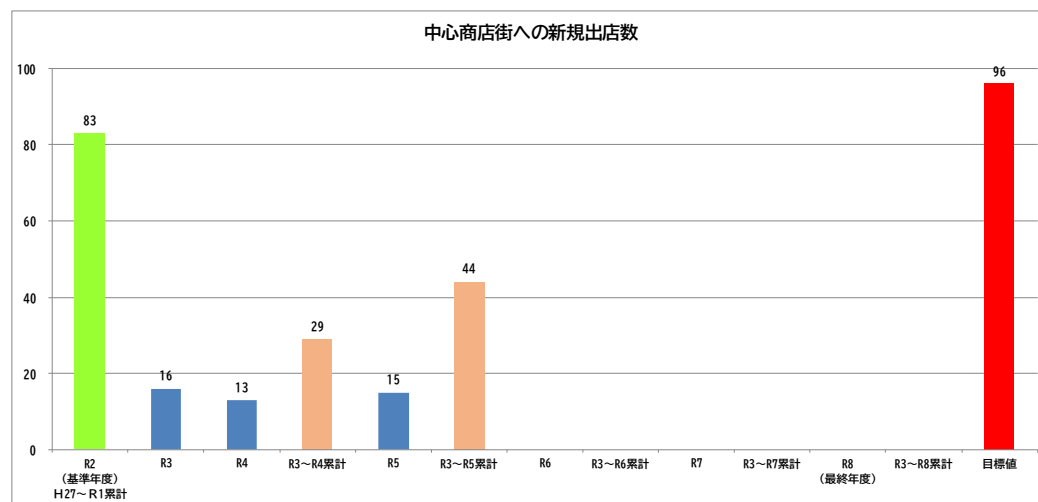
年	店舗
R2 (基準年度)	275
R3	281
R4	281
R5	282
R6	
R7	
R8 (最終年度)	
目標値	281

※調査方法：毎年行う中心市街地の商店街等の営業店舗数調査

※調査月：10月末

※調査主体：山口市

※調査対象：山口市商店街連合会に加盟する商店街に面して立地した店舗等



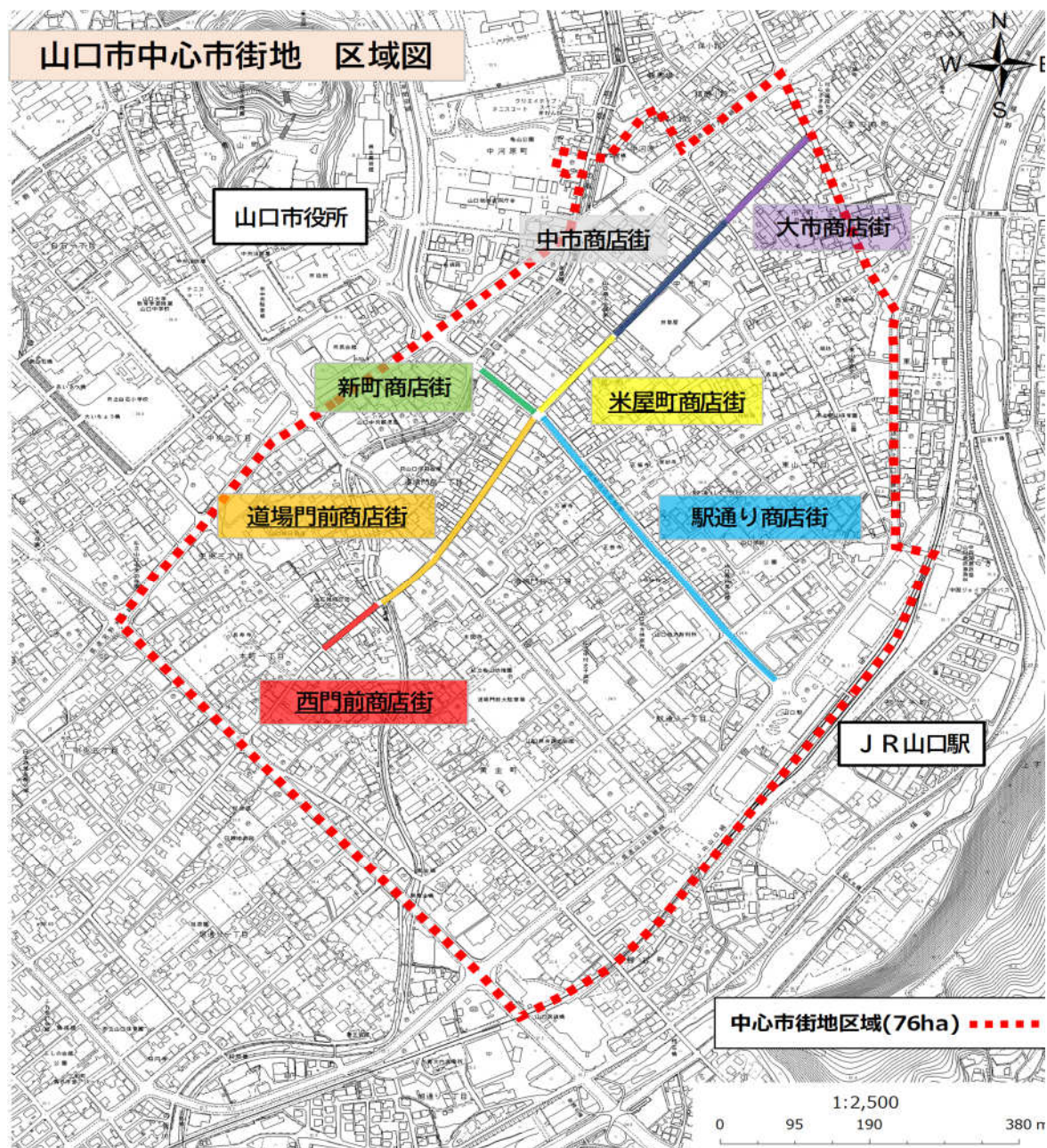
年	店舗
R2 (基準年度) H27～R1累計	83
R3	16
R4	13
R3～R4累計	29
R5	15
R3～R5累計	44
R6	
R3～R6累計	
R7	
R3～R7累計	
R8 (最終年度)	
R3～R8累計	
目標値	96

※調査方法：タウンマネージャーの行う中心商店街の店舗数調査

※調査月：3月末

※調査主体：山口市中心市街地活性化協議会（街づくり山口）

※調査対象：山口市商店街連合会に加盟する商店街に面して立地した店舗等



〈分析内容〉

「中心商店街営業店舗数」については、調査月となる10月末時点において282店舗となっている。

「中心商店街への新規出店数」については、「あきないのまち支援事業」ほか各種事業の実施により新たに15店舗の出店実績があったものの、同じ程度の閉退店があった。

タウンマネージャーによる空き店舗情報のワンストップ化が功を奏しており、中心商店街への出店意欲は継続しているものと考えられる。

出店業種の傾向は、小売業のほかにサービス業が増加傾向にある。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①あきないのまち支援事業

事業実施期間	平成20年度～【実施中】
事業概要	空き店舗への新規開業者に対して、出店時の店舗改修に係る費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和3年7月～令和9年3月（令和3年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：新規出店数 年平均8店舗 最新値：年平均9店舗 令和5年度は12件の補助申請・実績があり、令和3年度から累計28件の実績があった。
事業の今後について	今後も、中心商店街の空き店舗への出店者に対する改装費等の支援を継続して実施する。

②店舗改修支援事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	老朽化や店舗一体型住居が原因で長期間空き店舗となっている物件をまちづくり事業者が借り受け、リノベーション等の手法により建物を再生し、テナントとして出店者にサブリースする事業に対して改修費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度～令和7年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：新規出店数 年平均1店舗 （店舗取得支援事業と合わせての目標） 最新値：年平均0店舗（年平均0.5店舗） 令和5年度は、問い合わせや、実施に向けた協議はあったものの実績はなかった。
事業の今後について	令和6年度は、交渉中の案件について、事業実施に向け引き続き取り組む。

店舗取得支援事業

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	商店街組合等がアーケードに面した店舗1階部分の商業床を買い取り、にぎわいの創出に資する店舗としてサブリースして運営する事業に対して取得費の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度～令和7年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：新規出店数 年平均1店舗 （店舗改修支援事業と合わせての目標） 最新値：年平均0.5店舗

	令和５年度は、米屋町商店街において店舗取得支援事業の内装費支援型の実績があり、店舗の連続性の確保を行った。
事業の今後について	令和６年度は、店舗取得支援事業としての交渉案件は現時点ではない。

③中心商店街開業サポートセンター事業

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	空き店舗に関する情報の収集、発信、出店相談窓口、各種支援の案内等を一元的に集約し、開業につなぐ事業
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：新規出店数 年平均１店舗 （多様性あふれる商店街推進事業と合わせての目標） 最新値：年平均８店舗 中心商店街等の空き店舗に関する情報をまちづくり事業者のホームページに一括掲載しており、出店に関する相談・支援も併せて受付けている。令和５年度の問い合わせ件数は３４件で、そのうち８件が出店した。
事業の今後について	今後も継続して実施し、中心商店街への出店を促進し、にぎわいの創出を図る。

多様性あふれる商店街推進事業

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	百貨店との連携により空きスペース・空き店舗等を活用し、市内各地域の魅力ある特産品の販売や地域資源の情報発信、山口ならではの商品販売やサービス、教育的なコンテンツやアクティビティの提供等、商業活動以外も含めた様々なプレイヤーの多様な活動の展開を図る場を通年で運営する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和５年度～令和７年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：新規出店数 年平均１店舗 （中心商店街開業サポートセンター事業と合わせての目標） 最新値：年平均０店舗 山口井筒屋２階に地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」を開設し、地場産品の販路開拓支援のほか、圏域内のイベント情報等の発信、地域資源を活用した体験コーナーや図書コーナーの設置など、地域の魅力発信スペース等における企画展示やイベントを実施した。
事業の今後について	今後も継続して実施し、中心商店街への出店を促進し、にぎわいの創出を図る。

④中心商店街稼働力向上支援事業

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	中心商店街全体の稼働力の向上に向けて、ＱＲコード等を利用したキャッシュレス化やスタンプカード・クーポン機能のデジタル化等スマート商店街に資する取組や、多種多様な店舗が集積している環境を最大限に生かすため事業者間連携による新しいサービスの創出、大学・地域との連携による新たな商品の開発、広域からの来街者の増加に資する取組等について、既存店舗等が負担する経費の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和５年度～令和７年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：閉退店 年平均１５店舗 (まちゼミと合わせての目標) 最新値：年平均１２店舗 令和５年度は、年度末に閉店が相次いだため数字が悪化しているが、すでに新規店舗事務所への準備が始まっており、令和６年度の早い段階で同数の開店を見込んでいる。
事業の今後について	今年度も引き続き「中心商店街稼働力向上支援事業」を実施し、既存店舗の営業支援を行う。

まちゼミ

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	商店街店舗の店員が自ら講師となって、プロならではの専門知識や情報、コツを来店者に無料で教えるミニ講座を定期的に開催する。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：閉退店 年平均１５店舗 (中心商店街稼働力向上支援事業と合わせての目標) 最新値：年平均１２店舗 商店街店舗の店員が自ら講師となり、新規顧客やリピーターづくりを行う本事業を２０講座開催し、１００名を超える受講者があった。
事業の今後について	今年度も引き続き「まちゼミ」を実施し、既存店舗の営業支援を行う。

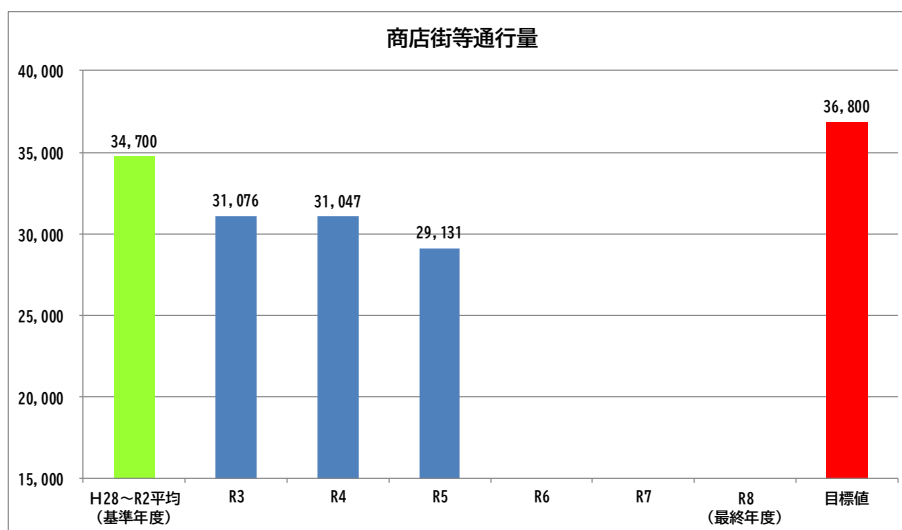
●目標達成の見通し及び今後の対策

目標達成に寄与する主要事業については、それぞれ一定の効果がでており、新規出店に関する問い合わせ件数も多い状況となっていることから、目標達成が見込まれる見通しとしている。

今後については、引き続き、空き店舗への出店に係る改装費用等の支援や開業に関する相談窓口、新規出店に関する各種情報のワンストップ化により、空き店舗の減少に取り組むとともに、既存店舗に対する営業力強化に向けた支援策の実施により、中心商店街からの閉退店の抑制を図る取組を進める。加えて、タウンマネージャーを中心として、閉退店の情報をいち早くつかむことにより、新規出店に向けた迅速な情報提供、相談につなげる取組を進めることで、営業店舗数の維持を図る。

（２）「商店街等通行量（通常時の平日・休日平均）」※目標設定の考え方認定基本計画 P67～P71 参照

●調査結果と分析



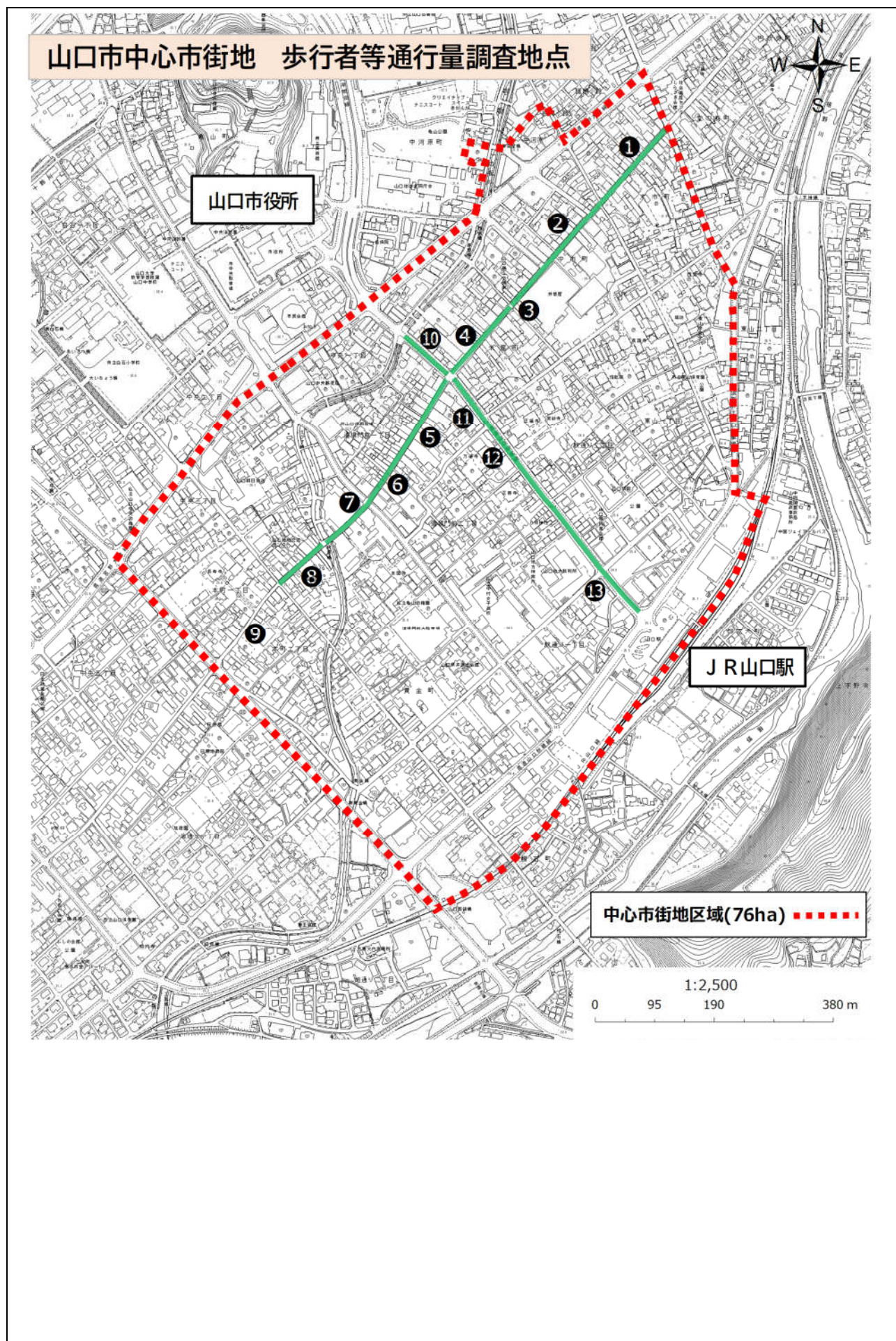
年	人/日
H28～R2平均 (基準年度)	34,700
R3	31,076
R4	31,047
R5	29,131
R6	
R7	
R8 (最終年度)	
目標値	36,800

※調査方法：１３地点に調査員を配置し通行量調査を実施

※調査月：１０月

※調査主体：山口市（山口商工会議所へ委託）

※調査対象：中心市街地主要１３地点の通行者（自転車含む）



調査地点別通行量比較表

調査地点	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年		令和8年	
	10月13日	10月11日	10月12日	10月10日	10月11日	10月9日	10月10日	10月8日						
	火曜 晴時々曇	日曜 晴	火曜 曇時々雨	日曜 晴	火曜 晴	日曜 雨	火曜 晴	日曜 雨						
①大市・岩見屋寝具店前	1,154	2,120	798	1,208	790	810	842	900						
②中市・金子染物店前	2,410	3,466	1,958	3,010	1,968	2,474	2,066	2,152						
③中市・JTB山口店前	4,544	8,588	4,202	6,588	4,240	5,780	3,580	5,070						
④米屋町・みずほ銀行山口支店前	3,850	6,756	3,582	5,588	3,598	5,174	3,500	5,044						
⑤道場門前・旧和興茶舗茶房前	3,128	5,316	2,662	5,228	3,164	5,224	2,926	4,632						
⑥道場門前・コーヒーボーイ前	2,964	4,488	2,260	3,588	2,826	3,730	2,752	3,570						
⑦道場門前・どうもんパーク前	3,168	3,318	2,054	2,930	2,326	4,602	2,272	2,690						
⑧本町・ビューティ愛前	2,078	1,494	1,754	1,770	2,128	1,224	2,178	1,250						
⑨荒高・旧吉永時計店前	1,326	942	816	1,064	1,138	716	1,170	820						
⑩新町・ギャルソン前	1,670	1,362	1,004	1,522	1,478	1,850	1,202	1,520						
⑪駅通り・無印良品山口店前	1,918	2,792	1,186	1,788	1,290	1,238	1,498	1,640						
⑫駅通り・万徳寺前	1,472	1,558	1,242	1,642	1,438	1,162	1,402	1,516						
⑬駅通り・熟成からあげAomizu前	1,346	812	1,750	958	1,062	664	1,154	916						
	31,028	43,012	25,268	36,884	27,446	34,648	26,542	31,720	0	0	0	0	0	0

〈分析内容〉

歩行者等通行量については、昨年度と比較して、平日・休日ともに減少している。

⑪～⑬までの駅通りにおいて増加しているものの、商店街アーケードのある③～⑦までの地点で減少している。これは、アーケード内のタイル舗装の改修に着手したことで、先行実施したガス管更新工事、水道管更新工事などの影響で短期的には路面が凸凹になり、人通りがまばらになったものと推察している。

また、休日に関しては、コロナ禍から通常の社会生活に戻ってきた中で、市内各地で様々なイベントが開催されており、そういった場所へ出かけていく方が増えたことが要因と推測される。

平日に関しては、昨年度よりは減少しているものの、駅通りの一部において増加している。これは、歩きたくなるまちなか整備事業のうち、駅通りの実施が令和6年度で未実施である中、令和5年度は、歩道空間の活用など滞在環境の向上について、まちなかウォーカブルプロジェクト（社会実験）を実施したことによる効果があったものと推測される。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①新本庁舎整備事業（新本庁舎棟、市民交流棟、新本庁舎前広場、中央駐車場整備）

事業実施期間	令和3年度～令和8年度【実施中】
事業概要	「市民が集う親しみをもてる庁舎」を目指し、「新本庁舎棟」とともに、市民が多目的に利用可能な「市民交流棟」、市民の憩いの場となる「広場」及び都市計画駐車場と来街者駐車場を合築した新たな中央駐車場を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集集中支援事業（山口市中心市街地周辺地区） 令和3年度～令和6年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 580人/日 令和5年度は新本庁舎棟の建設工事に着手し、概ね鉄骨の組み立て工事までが完了した。
事業の今後について	令和6年度は、年度末までの完成を目指し、新本庁舎棟の工事を進める。

②商店街の店舗対策等による効果

1) 空き店舗対策事業

あきないのまち支援事業

事業実施期間	平成20年度～【実施中】
事業概要	空き店舗への新規開業者に対して、出店時の店舗改修に係る費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和3年7月～令和9年3月（令和3年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 270人/日 （店舗取得支援事業、店舗改修支援事業と合わせての目標） 最新値 92人/日 あきないのまち支援事業では、令和5年度に12店舗の補助実績があった。
事業の今後について	令和6年度以降も、あきないのまち支援事業を継続して実施し、空き店舗への出店促進を図る。

店舗改修支援事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	老朽化や店舗一体型住居が原因で長期間空き店舗となっている物件をまちづくり事業者が借り受け、リノベーション等の手法により建物を再生し、テナントとして出店者にサブリースする事業に対して改修費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度～令和7年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 270人/日 （あきないのまち支援事業、店舗取得支援事業と合わせての目標） 最新値 0人/日 店舗改修支援事業としての実績はない。
事業の今後について	令和6年度は、交渉中の案件について、事業実施に向け引き続き取り組む。

店舗取得支援事業等

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	商店街組合等がアーケードに面した店舗1階部分の商業床を買い取り、にぎわいの創出に資する店舗としてサブリースして運営する事業に対して店舗取得費の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度～令和7年度

事業目標値・最新値 及び進捗状況	事業目標値 270人/日 （あきないのまち支援事業、店舗改修支援事業と合わせての目標） 最新値 46人/日 店舗取得支援事業でマンション1階部分に1店舗営業を開始している。
事業の今後について	令和6年度は具体の案件はない。

2) 既存店舗対策
中心商店街稼ぐ力向上支援事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	中心商店街全体の稼ぐ力の向上に向けて、QRコード等を利用したキャッシュレス化やスタンプカード・クーポン機能のデジタル化等スマート商店街に資する取組や、多種多様な店舗が集積している環境を最大限に生かすため事業者間連携による新しいサービスの創出、大学・地域との連携による新たな商品の開発、広域からの来街者の増加に資する取組等について、既存店舗等が負担する経費の一部を助成する。
国の支援措置名及び 支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度～令和7年度
事業目標値・最新値 及び進捗状況	事業目標値 250人/日 最新値 140人/日 令和5年度は既存店舗への魅力UP、個店の集客力や販売力を高めることを目的に、店舗の動線やディスプレイ、POP等の見直しを行う店舗改善に関する取組を、費用のかからないものを含めて4店舗で行った。
事業の今後について	令和6年度も、外部専門家によるコンサルティングの実施を継続する。

③歩きたくなるまちなか整備事業（山口駅通り、商店街アーケード、大市商店街）

事業実施期間	歩きたくなるまちなか整備事業（山口駅通り） 令和6年度～令和8年度【未実施】 歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード） 令和4年度～令和9年度【実施中】 歩きたくなるまちなか整備事業（大市商店街） 令和4年度～令和6年度【実施中】
事業概要	歩きたくなるまちなか整備事業（山口駅通り） 道路バリアフリー化に併せた修景整備 歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード）

	アーケード内のタイル舗装を改修 歩きたくなるまちなか整備事業（大市商店街） 大市商店街の道路の修景整備
国の支援措置名及び 支援期間	都市構造再編集集中支援事業（山口市中心市街地周辺地区） 令和３年度～令和６年度
事業目標値・最新値 及び進捗状況	事業目標値 ７５０人／日 最新値 ０人／日 事業を進めているが、完了まで目標値に対しての効果が見込めない。 歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード）については、商店街タイル舗装の改修工事に着手した。
事業の今後について	商店街アーケードのタイル舗装の改修工事を継続する。

④アートでつなぐまちの活性化事業

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	アートが持つ人と人をつなぐツールとしての機能を活用して、YCAM作品の展示等を空き店舗・空きスペースを利活用して実施。
国の支援措置名及び 支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和３年７月～令和９年３月（令和３年度～令和８年度）
事業目標値・最新値 及び進捗状況	事業目標値 １７０人／日 最新値 ５５０人／日 令和５年度は、中心市街地においてアートコミュニケーターの育成を行うとともに、市内外からの誘客を促すため、「without records」と題した、空き店舗・空きスペースを活用したアート展示を行った。 また、子どもを核とした回遊性の向上を図るため、コロガル公園の知見を活用した遊び場「コロガルあそびのひゃっかてん」を山口井筒屋２階に開設した。 個々の事業の実施期間中は多くの来場者があった。
事業の今後について	YCAMの人気コンテンツであるコロガルシリーズを継続実施するとともに、回遊性の向上に関して有効であった「without records」関連のアート展示についても、バージョンアップして実施する。

⑤まちなかクリエイティブフィールド事業

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	商店街の空き店舗や空きスペースを有効的に活用し、子ども達が主体的に地域に関わることができる仕組みを持つ拠点を作り、商店街を盛り上げる様々な活動を展開する。

国の支援措置名及び 支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和５年度～令和７年度
事業目標値・最新値 及び進捗状況	事業目標値 ２０人/日 最新値 ６０人/日 中心商店街の空き店舗に活動拠点として「VIVISTOP（ヴィヴィストップ）」を開設し、子ども達のアイデア出しやものづくりの場としての展開を行った。 令和５年度は、年間通じて「VIVISTOP YAMAGUCHI」を運営し、「そらを飛べる商店街プロジェクト」を立ち上げ、気球制作やイベントでのお披露目などを行った。そのほか「かわいい店のある商店街」、「お花見ができる商店街」、「ガチャガチャのある商店街」、「おばけやしき商店街」などのプロジェクトにおいて商店街をテーマにしたものづくりを通じて、空き店舗の活用や商店街の周遊につながる取組を実施した。
事業の今後について	徐々に活動が浸透してきたので、よりわかりやすいものづくりとしてロボットをテーマに、デジタルツールやプロトタイプングツールを使ったデジタルものづくりをわかりやすく展開し、ロボットコンテストの企画、開催など、イベントと組み合わせて実施する。

⑥ グランドパレス米屋町プライムマークス（分譲マンション）

事業実施期間	令和２年度～令和４年度（済）
事業概要	都市機能が集約され利便性の高い中心市街地において、魅力ある店舗付き共同住宅を供給
国の支援措置名及び 支援期間	なし
事業目標値・最新値 及び進捗状況	事業目標値 ９０人/日 最新値 ５７人/日 令和５年３月に竣工した。まだ未入居の部屋があり、販売継続中。
事業の今後について	今後は分譲マンションへの入居により、居住人口の増加が見込まれる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

目標達成に必要な事業は順調に進んでいるものの、コロナ禍後の社会状況として、多くの方がこれまで行けなかった様々な場所に積極的に出かけるようになったことで、逆に商店街等の通行量が伸び悩む傾向となった。

そのような中、令和６年１月に、ニューヨーク・タイムズ紙が２０２４年に行くべき５２カ所を発表し、日本からは唯一「山口市」が選ばれた。

本市は、「西の京」と呼ばれ、観光公害に悩まされることが少ない、コンパクトな都市

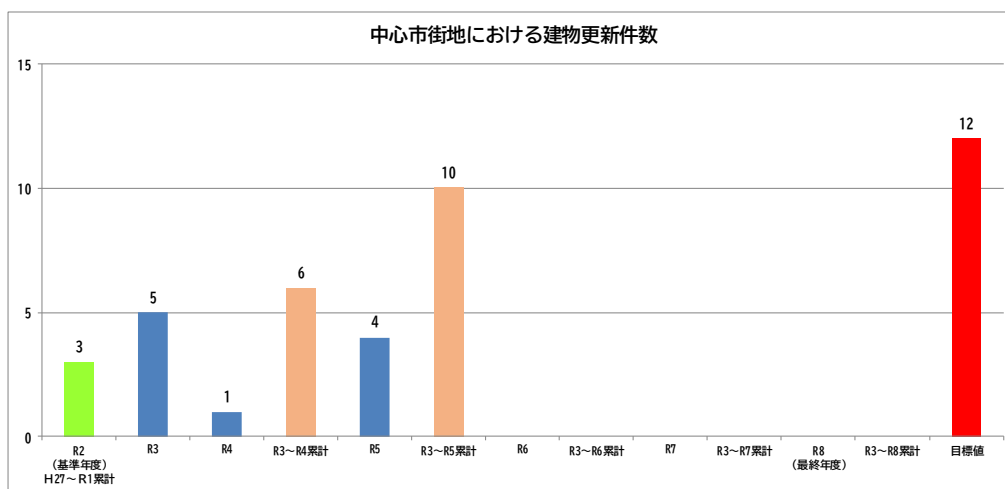
として評価されており、普段の暮らしぶり、文化的な雰囲気が魅力として紹介されている。

現在、明らかに外国人の来街者が増加している印象があり、まちの雰囲気を大切にしながら、まち歩きマップの外国語表記バージョンの作成や、隣接エリアも含んだ散策コースのマップ作成といった賑わい創出事業と、空き店舗対策であるあきないのまち支援事業、既存店舗の魅力向上対策である稼ぐ力向上支援事業を同時並行で進めるなど対策をとることで、この好機をまちの魅力向上につなげ、目標を達成できると思われる。

(3)「中心市街地における建物更新件数」

※目標設定の考え方認定基本計画 P72～P74 参照

●調査結果と分析



年	件
R2 (基準年度) H27～R1累計	3
R3	5
R4	1
R3～R4累計	6
R5	4
R3～R5累計	10
R6	
R3～R6累計	
R7	
R3～R7累計	
R8 (最終年度)	
R3～R8累計	
目標値	12

※調査方法：現地調査

※調査月：3月末

※調査主体：山口市

※調査対象：中心市街地の老朽建築物

〈分析内容〉

「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」の善福寺地藏通り線、相物小路・銭湯小路線及び北野小路線については順調に進捗している。拡幅工事に伴う住宅等の建築物の除却が進み、狭隘道路が拡幅され、交差点の視距も改良され安全安心なまちづくりが進んだ。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①山口駅前地区住宅市街地総合整備事業

事業実施期間	平成25年度～令和7年度
--------	--------------

事業概要	密集市街地における老朽建築物の除却・建替え等を、善福寺地蔵通り線、相物小路・銭湯小路線において実施する。
国の支援措置名及び支援期間	防災・安全交付金（住宅市街地総合整備事業） 平成30年度～令和5年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 6件 最新値 4件 令和5年度は、善福寺地蔵通り、北野小路において店舗住宅3件の除却を行った。
事業の今後について	善福寺地蔵通り線の道路拡幅工事を実施する。

②店舗改修支援事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	店舗改修支援事業【再掲】 老朽化や店舗一体型住居が原因で長期間空き店舗となっている物件をまちづくり事業者が借り受け、リノベーション等の手法により建物を再生し、テナントとして出店者にサブリースする事業に対して改修費用の一部を助成する
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度～令和7年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 6件 最新値 0件 店舗改修等支援事業については、令和4年度から実施しており、地権者と交渉を行った。
事業の今後について	令和6年度は、交渉中の案件について、事業実施に向け引き続き取り組む。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」は順調に進捗しており、老朽建築物等の除却により安全安心なまちづくりが図られる見込み。善福寺地蔵通り線において地権者交渉が難航している箇所が一部あるものの、合意に向けて事業を実施していく。

「店舗改修支援事業」についても、令和5年度に実績はなかったが、事業化に向けた調整を継続しており、令和6年度は具体化を予定している。

まちづくり事業者によるサブリースの事業については、出店希望者とのマッチングにおいて、タイミングの課題もあるが、今後も事業を継続実施し、長期間にわたり貸し出しが出来なくなっている空き店舗の再生・活用に取り組む。